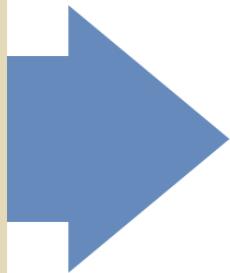
1章

準備／基本操作

ケータイをお使いになる前に

ケータイをお使いになる前に、次のことを知っておいてください。

安全のために

ケータイを分解／改造／加熱しない

発火・破裂・感電などの恐れがあり、非常に危険です。(電池パックも同様です。)

運転中、飛行機／病院では使用しない

事故の原因になったり、計器や医療機器に影響を与える可能性があります。

はじめてのケータイ

電源は入れたままにしておく

電源が入っていないと、電話やメールが受けられません。常に電源を入れておきましょう。

電波状況／電池残量に注意する

ケータイが使用できるか、電波状態／電池残量を確認しましょう。(☞21ページ)

マナーにご注意

周囲への気配りを忘れずに

公共の場所や交通機関などでは、場所に応じて電源を切ったり、通話を控えましょう。

混雑している場所では電源を切る

付近にペースメーカーを装着されている方がいる可能性があります。

※7章の「安全上のご注意」、「お願いとご注意」も必ずお読みください。

各部の名前とはたらき

まずは、閉じたまま眺めてみましょう。

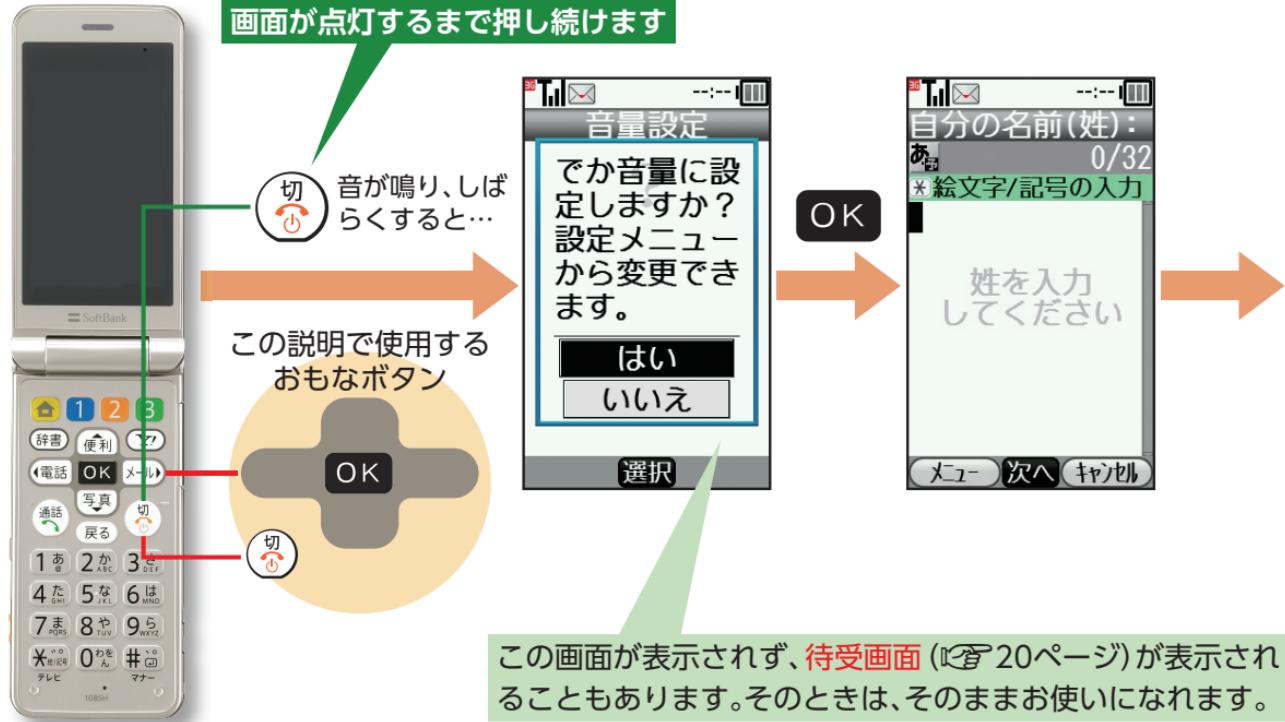
※手でふさがないようにご注意ください。

開いて、じっくり見てみましょう。

※手でふさがないようにご注意ください。

電源を入れてみましょう

何かボタンを押しても画面が表示されないときは、次の操作で電源を入れましょう。

この画面が表示されず、待受画面（☞20ページ）が表示されることもあります。そのときは、そのままお使いになれます。

名前（姓／名）が入力できますが、ここでは入力せずそのまま進みましょう。（入力するときは、37ページ「**文字入力のしかた**」をご覧ください。）

次ページに続きます

「**ネットワーク自動調整**」は、日時を自動設定したり、メールなどを利用できるようにするための操作です。必ず行ってください。

前ページからの続きです

この画面から電話やメールなど、いろいろな操作が行えます。普段はこの画面にしておいてください。

アドバイス

公共の場所などで電源を切る必要があるときは

待受画面で切を押し続けます。音が鳴り、下の画面が表示されれば、ボタンから手を離してください。

画面のしくみについて

待受画面を例に画面のしくみを知っておきましょう。
（画面が消えているときは、何かボタンを押すと点灯します。）

（辞書）を押したときの動作が表示されます（待受画面：辞書起動）

OKを押したときの動作が表示されます（待受画面：メインメニュー表示）

（Y!）を押したときの動作が表示されます（待受画面：インターネット接続）

自分の電話番号を確認しましょう

まず、自分（このケータイ）の電話番号を確認しましょう。

自分の電話番号が表示されます

2回押す

写真

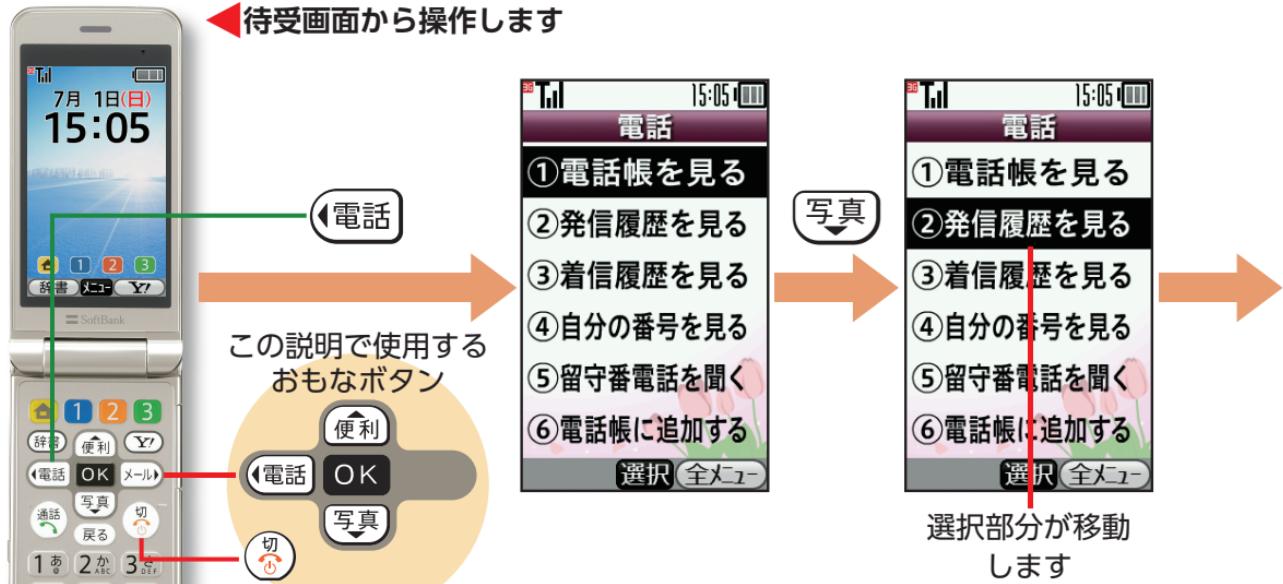
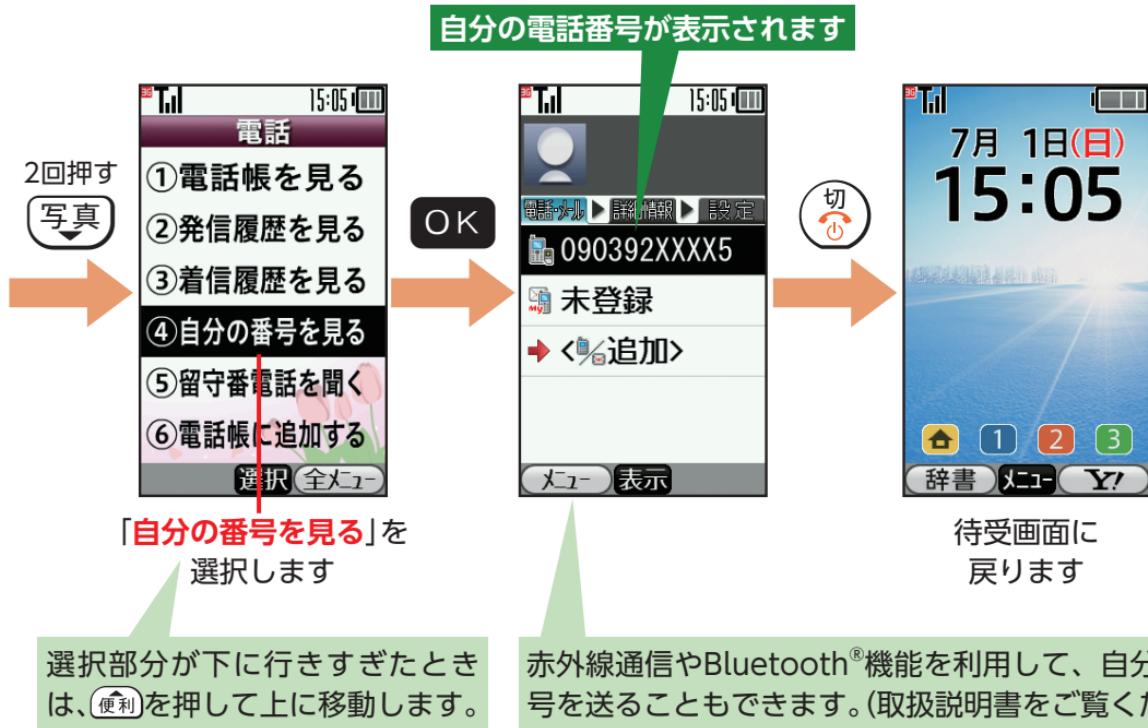
「自分の番号を見る」を選択します

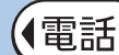
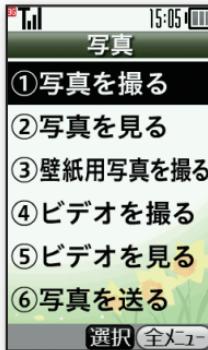
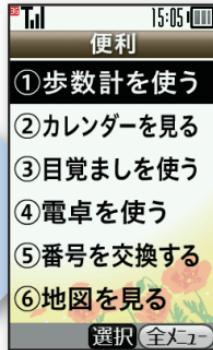
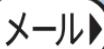
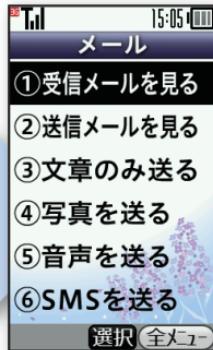
OK

切

待受画面に戻ります

選択部分が下に行きすぎたときは、便利を押して上に移動します。

赤外線通信やBluetooth®機能を利用して、自分の電話番号を送ることもできます。(取扱説明書をご覧ください。)

メニュー操作を覚えましょう

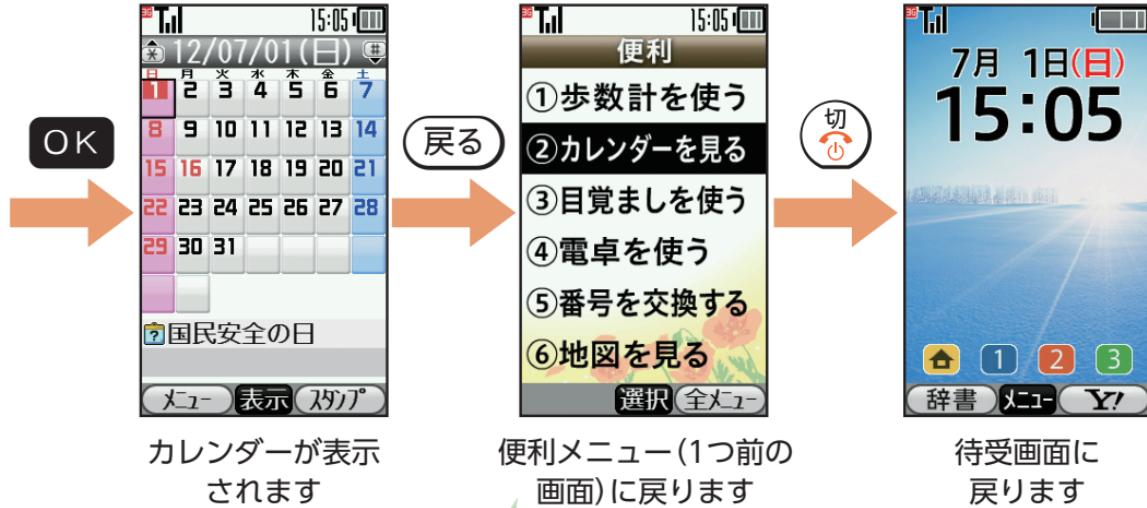
4つのボタンで基本機能が呼び出せる、「**楽ボタンメニュー**」を使ってみましょう。

実際に、メニュー操作をやってみましょう。(例：カレンダーを見る)

次ページに続きます

前の画面や待受画面に戻る操作も覚えておきましょう。

カレンダーが表示されます

便利メニュー（1つ前の画面）に戻ります

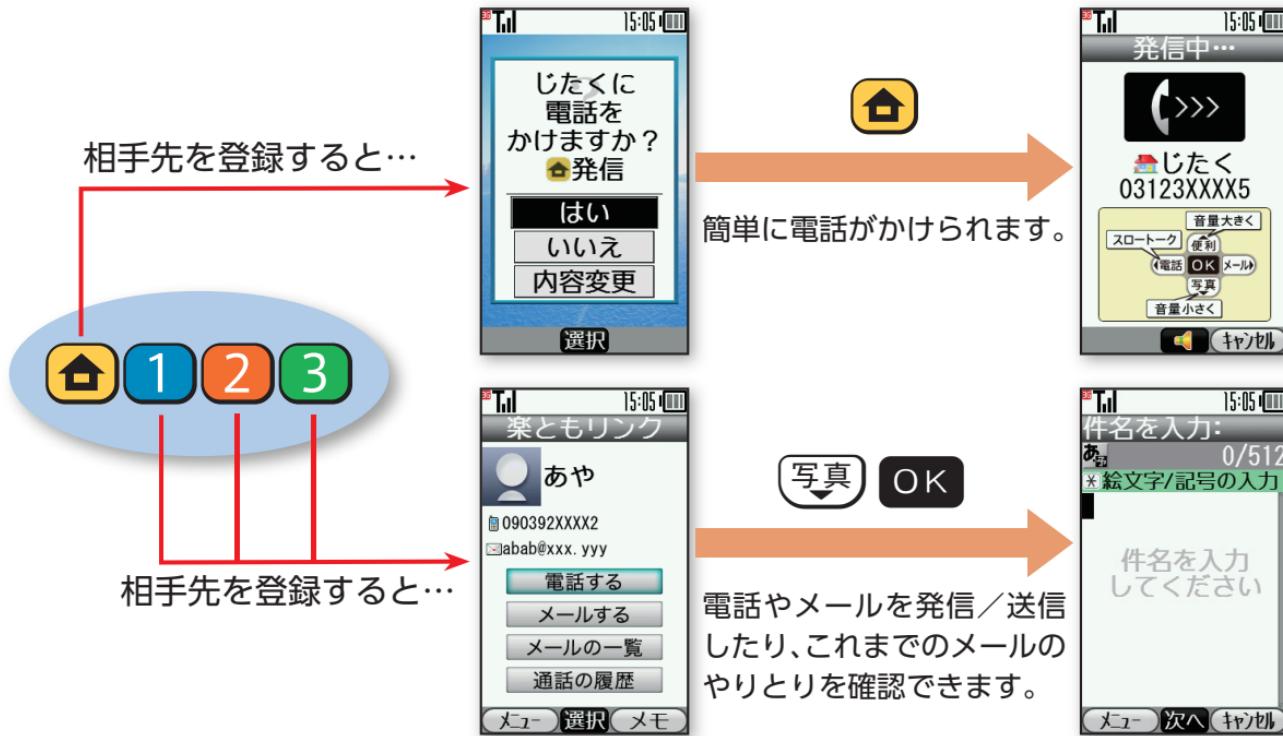
待受画面に戻ります

画面によっては、戻るを押しても前の画面に戻らないことがあります。

「**楽ボタンメニュー**」で表示されない機能は、「**メインメニュー**」(☞175ページ)から呼び出せます。

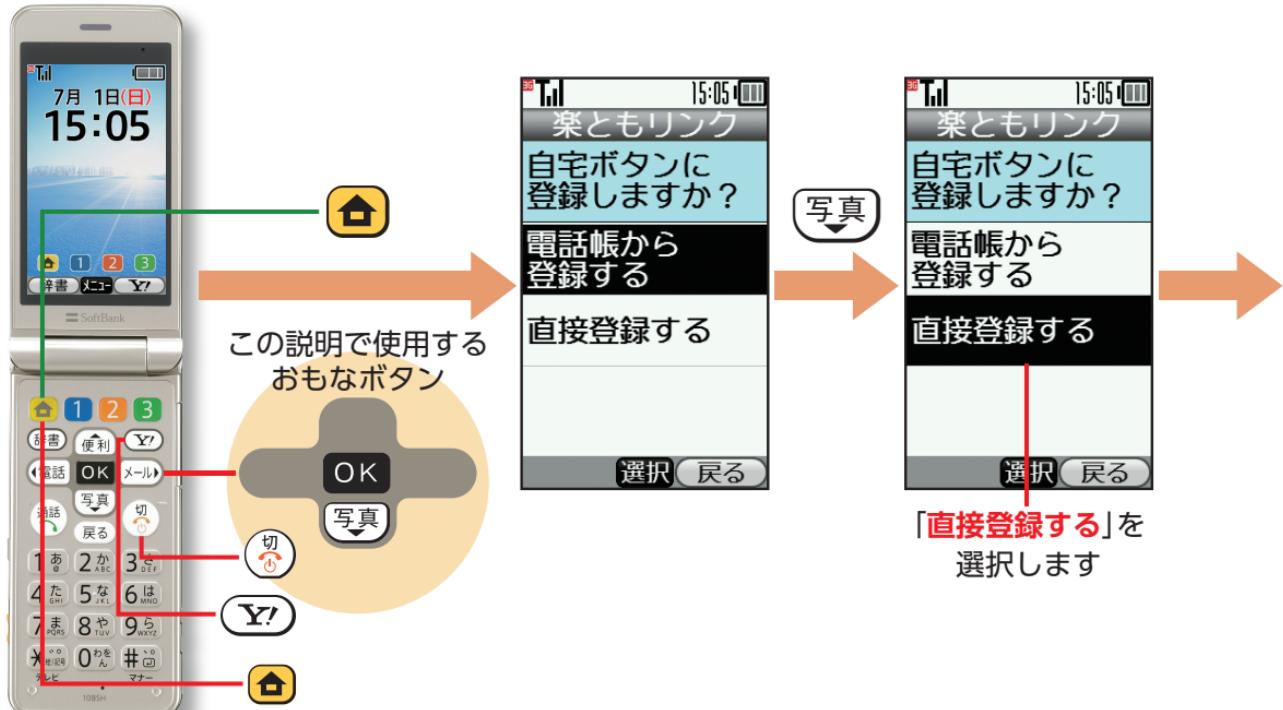
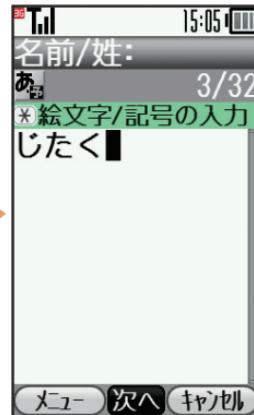
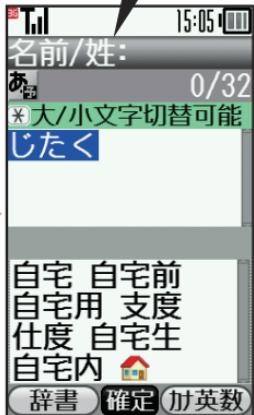
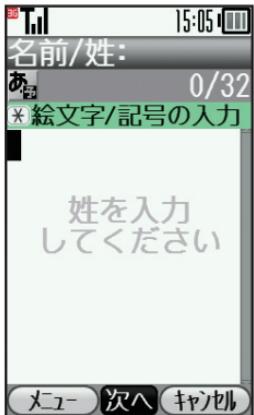
前ページからの続きです

機能内のメニューは、複数ページに分かれていることがあります。

楽ともボタン(⌂ 1 2 3)の使いかた

自宅やよく連絡する相手先を登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信することができます。

前ページからの続きです

（自宅専用のボタン）に、名前「**じたく**」と自宅の電話番号を登録してみましょう。
（123への登録方法も、基本的に同じです。）

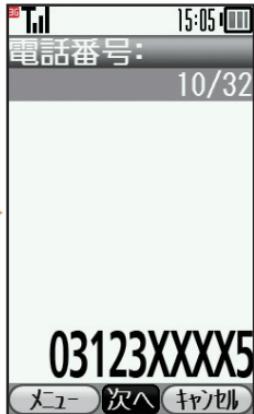
「**直接登録する**」を
選択します

文字や数字はダイヤルボタンで入力します。(詳しくは、37ページをご覧ください。)

名前／姓の入力画面が表示されます

名前の読み「**じたく**」を入力します

次ページに続きます

前ページからの続きです

電話番号やメールアドレスの種類は、アイコンで分類できます。

電話番号の入力画面が表示されます

電話番号をダイヤルボタンで入力します

OKを押しすぎたときは、Y!を押して戻します。

必ず市外局番から入力してください。

2回押す
写真

「**自宅電話**」を
選択します

OK

メールアドレスの入力
画面が表示されます

ここでは、登録しないでおきます。

OK

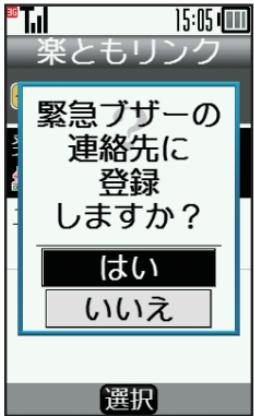
次ページに続きます

前ページからの続きです

準備／基本操作

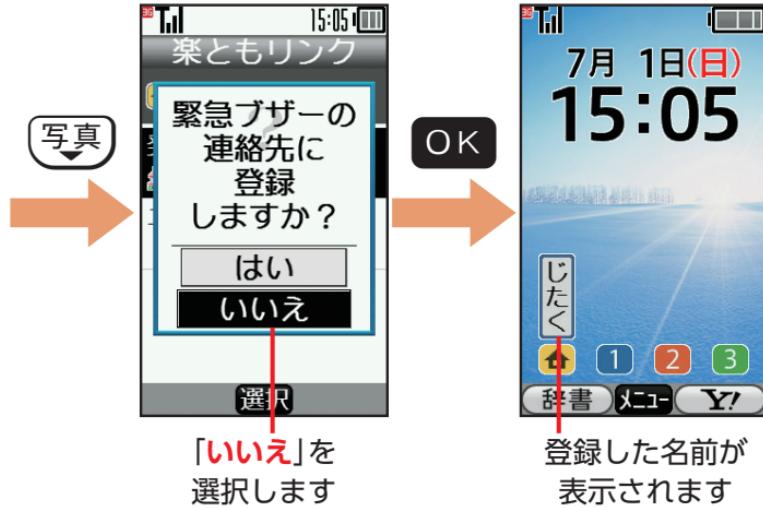
楽ともボタンに登録すると、自動的に電話帳（☞62ページ）にも登録されます。

登録した内容が表示されます

電話帳に登録されます

緊急ブザー登録の選択画面が表示されます

1 2 3に電話番号だけを登録すると、電話番号をメールアドレスとして使用するかの確認画面が表示されます。

「いいえ」を
選択します

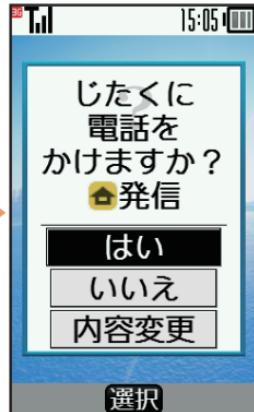
登録した名前が
表示されます

名前を表示しないようにすることもできます。(取扱説明書をご覧ください。)

アドバイス

1 2 3を登録したときは

登録後は待受画面ではなく、下のような画面が表示されます。この画面から、電話をかけたり、メールを送ることができます。

●切を押すと、待受画面に戻ります。

登録した楽ともボタン( )を使って電話をかけてみましょう。
(123でメールを送る方法：☞86ページ)

文字入力のしかた

文字入力の基本を知っておきましょう。まずは、文字の入力方法です。

文字はダイヤルボタンで入力します

※各ボタンに割り当てられている文字や、文字入力時のボタンのはたらきについては、177ページをご覧ください。

ボタンには、複数の文字が割り当てられています

4 た GHI

- た行のひらがなが入力できます
- 英字のGHIghiが入力できます
- 数字の4が入力できます

文字の種類に応じて、入力モードを切り替えます

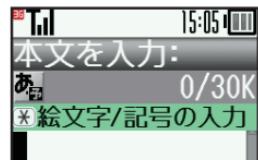
- あ：漢字（ひらがな）
- ア：全角カタカナ
- A：半角英字
- 1：数字　など

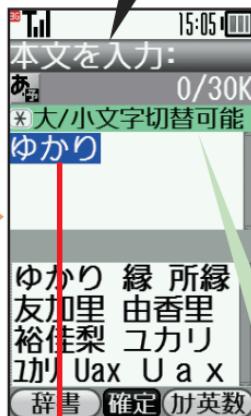
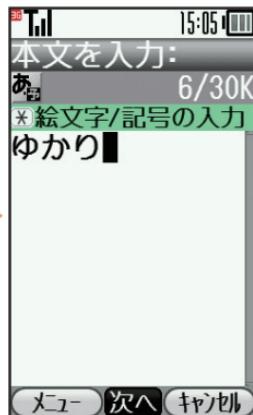
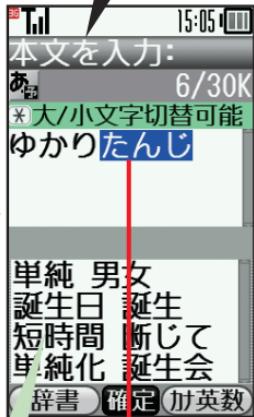
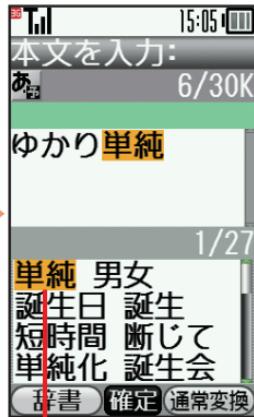
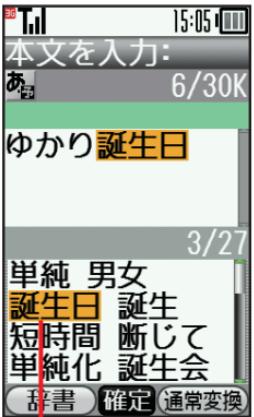
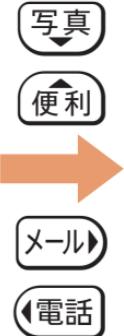
ボタンをくり返し押して、目的の文字を入力します

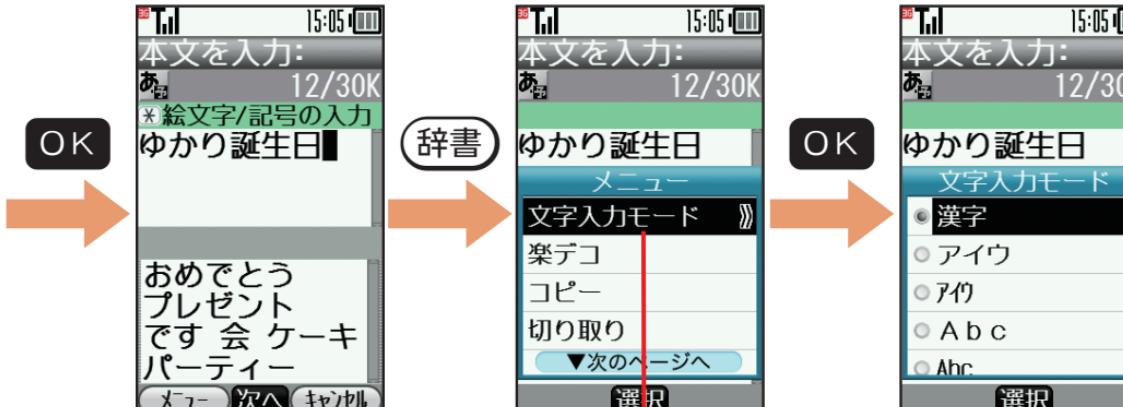
入力した文字の変換方法やボタンのはたらき、特殊な文字の入力方法も覚えましょう。

ひらがなは、写真で漢字などに変換できます

カタカナや英数字に変換することもできます。

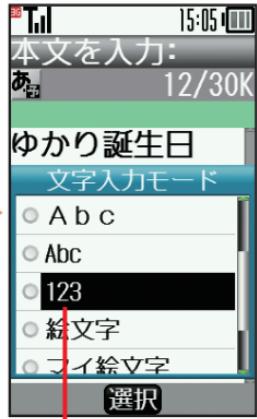
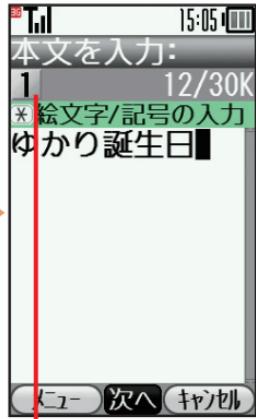
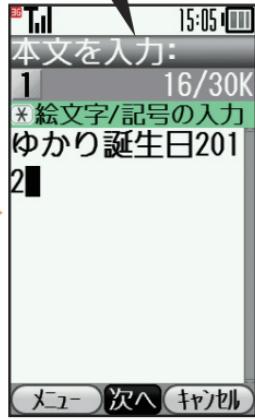
特殊な文字は、✱や#で入力しましょう

大文字⇔小文字の切り替えも✱で行えます。

実際に入力してみましょう。例として「**ゆかり誕生日2012**」と入力します。

次ページに続きます

画面下部には、入力したひらがなの変換候補が順次表示されます。目的の漢字が表示されれば、それ以上ひらがなを入力する必要はありません。

「**誕生日**」が入力できました

「**文字入力モード**」が選択されています

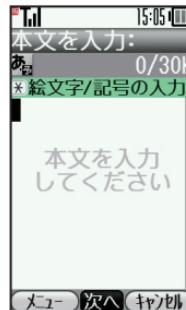
文字入力モードを選ぶ画面が表示されます

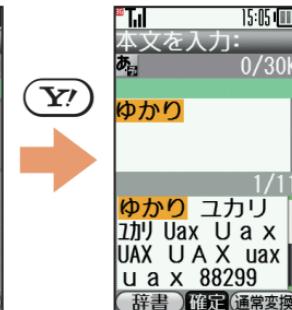
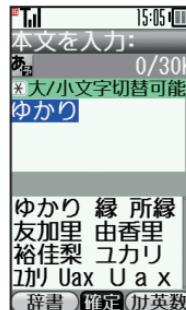
次ページに続きます

数字入力モードでは、数字が直接入力できます。OKは不要です。

アドバイス

絵文字を入力するときは

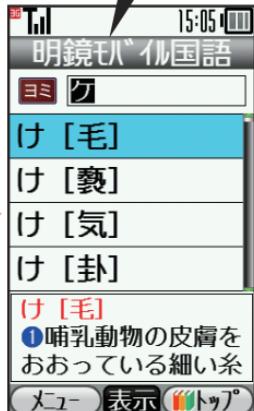
文字入力画面で（※絵/記号）を押すと、絵文字一覧画面が表示されます。このあと使いたい絵文字を選び、OKを押します。

- メール作成時は、絵文字一覧画面で（通話）を押すと、表現力豊かな「マイ絵文字」を利用できます。

ひらがなからカタカナや英数字に変換するときは

ひらがなで入力したあと、（Y!）を押します。このあと変換候補から入力したい単語を選び、OKを押します。

辞書を利用しましょう

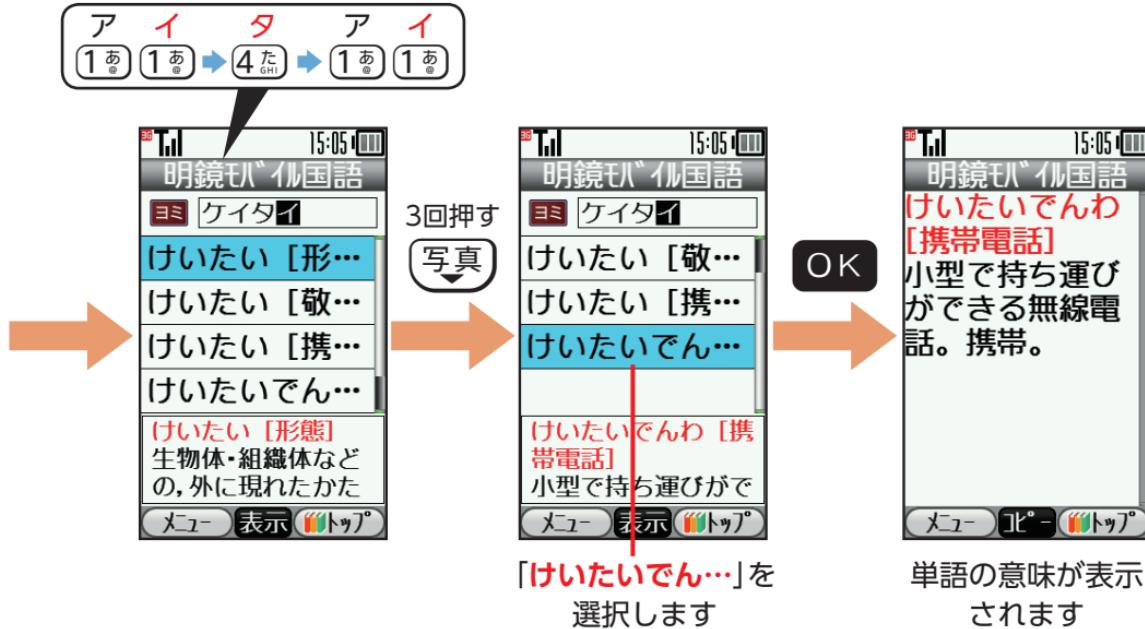
内蔵の国語辞書を利用して、単語「**携帯電話**」の意味を調べてみましょう。

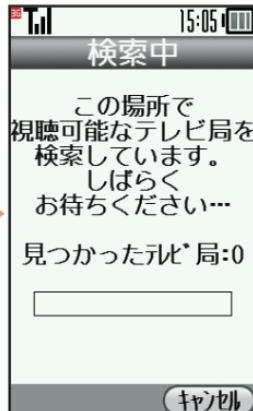
辞書が起動します（例：国語辞書）

このあとY!を押すと、辞書を切り替えることができます。

「ケ」で始まる単語が表示されます

ヨミは、カタカナで表示されます。

「**けいたいでん…**」を
選択します

単語の意味が表示
されます

テレビを利用しましょう

このケータイは、ワンセグに対応しています。

テレビ局が検索されます

チャンネルの一覧が表示されます

テレビは横画面で表示されます（ケータイを左に90度倒してご覧ください）

テレビ画面が表示されます

テレビの操作方法など、詳しくは取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

チャンネルを選局するには

（便利）（写真）を押します。

音量を調節するには

（電話）を押すと音量が小さくなり、（メール）を押すと音量が大きくなります。

内蔵ワンセグ用アンテナについて

内蔵ワンセグ用アンテナは、画面側に内蔵されています。テレビを視聴するときは、アンテナマークを確認しながら、画面を受信感度のよい方向に向けてください。

棒の数が多いほど感度良好です。

マナーモードを利用しましょう

ボタン1つで、ケータイから音（着信音やアラーム音など）が出ないようにできます。

#（長く押す）

この説明で使用するおもなボタン

マナーモードが設定されます

アドバイス

マナーモードに設定すると

電話やメールの着信があったり、アラームが動作しても、音は鳴りません。

- 着信があると、振動でお知らせします。
- カメラの撮影音、緊急速報メールの警告音は鳴ります。

マナーモードを解除するには

#を長く押します。

「」が消えます

2～6章の構成について

電話 2章
電話／電話帳

電話のかけかた／受けかた、電話帳など、電話に関する機能を説明しています。

52 ページへ

メール 3章
メール

メールの送受信や返信など、メールに関する機能を説明しています。

80 ページへ

写真 4章
写真（カメラ）

写真撮影や写真の見かたなど、カメラに関する機能を説明しています。

106 ページへ

便利 5章
便利機能

歩数計や目覚まし、カレンダーなど、便利な機能を説明しています。

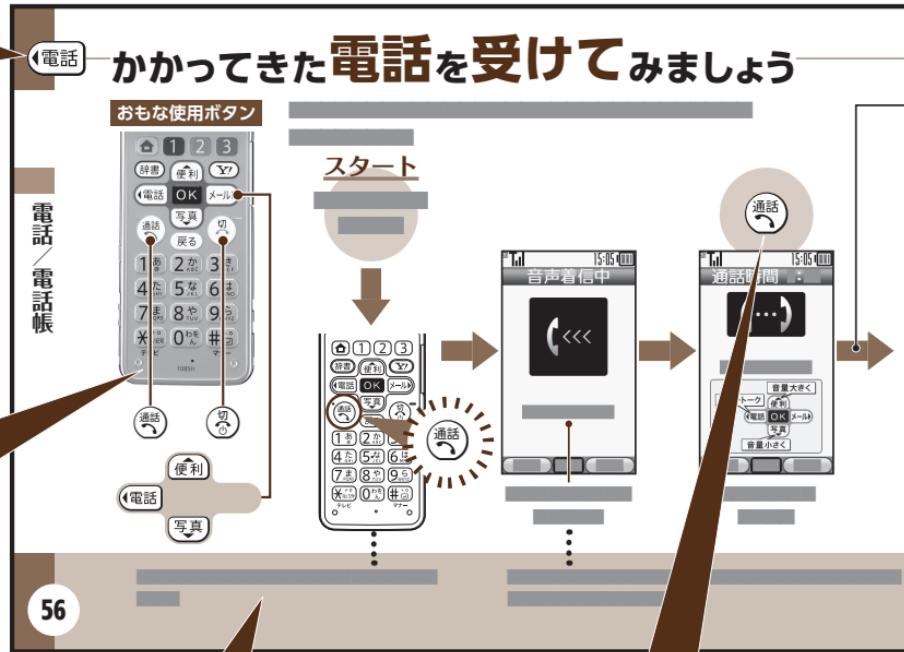
120 ページへ

6章
安心機能

緊急ブザーや緊急速報メールなど、安心を支える機能を説明しています。

140 ページへ

2章以降の操作ページの見かた

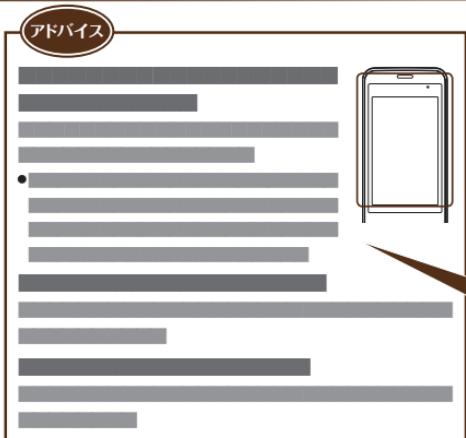
その章で説明する機能を呼び出すボタンです。

その説明で使用するボタンの位置を示しています。

操作に関する補足事項を説明しています。

押すボタンや入力する内容などを示しています。

次操作へのガイドや、アドバイスを記載しています。

操作に関する注意や関連機能について説明しています。

操作後の状態を示しています。

関連する情報が記載されているページを示しています。